

## 小豆島八十八ヶ所霊場 第二十番札所 佛ヶ滝

寒霞溪への途中に位置し、本堂は洞窟にあり、寺と岩肌が一体化されているのが特徴のお寺です。御加持石は不思議な霊徳を授かる基石として、難病から救われたり、十余年間子宝に恵まれぬ人が子を授かり、縁の遠い人が良縁に恵まれたりなど、念力の手形も加持力を一身にうける霊場といわれています。



本尊：薬師如来：真言：オン コロコロ センダリ マトウギ ソワカ  
御詠歌：千萬の 病を癒す み佛の 十二の誓 たのめ世の人

### 【佛ヶ滝之縁起】

天平の昔、弘法大師修行の霊地にして、願いを国土安泰ならんことを發し、結願の暁、彼方此方の谷間より、仏菩薩感応して、御立ち成られしより、大師名付けて、「佛ヶ立」と号す。大師の霊徳洞窟に集まり、霊氣一段と高く、参禅の修行者、錫を留めるもの數知れず、特に大師の残せるお加持石は、不思議な霊徳を授かる基石とて、十数年間子宝に恵まれぬ人が子を授かり、縁の遠い人が良縁に、難病から救われる等々、山肌に見える念力の手形も加持力を一身に受ける霊場である。山河英萃に富み巖谿の美、神木靈草の区、神懸の絶景に抱かれ煙霞に臥して龍王の現出は威徳広大無辺、梵唄鈴声遠近に流れ錦繡を織って自ら莊嚴の色を染め風琴梢に鼓して鐘磬の声、心門にきく。

また先ごろ、先代住職の永年の願いであった、「佛ヶ滝石仏苑」作りが約三十年ぶりに再開され、その第一作は輪道櫓、そして五輪地蔵と完成した。(彫刻一家の 空 充秋、道子、充樹、江里の親子四人制作) この輪道櫓《りんどうやぐら》は百八個のサヌカイトをつるし、この石(意志)を叩いて煩惱をはらう、また五輪地蔵は万有の生命大宇宙を現している。大師の霊場佛ヶ滝に新たに莊嚴が融和した。